



テクニカルダイアリー



- ③発生前から予防剤、発生後は治療剤を散布する。葉の表裏
- ②窒素肥料の過多は発病を助長するので、過剰な施肥に注意する。
- ①果実肥大に必要ななくなった下位葉を摘葉する。風通しを良くし、病原菌の繁殖を抑える。

●対策
果実肥大に必要ななくなった下位葉を摘葉する。風通しを良くし、病原菌の繁殖を抑える。

うどんこ病は主に葉の表面に発生し、白色粉状の病斑を形成します(写真④)。下位葉から徐々に上へ広がっていくので、下位の葉を観察することで早期に発見できます。また、発病しやすい条件は、比較的高温でやや乾燥気味の場合なので、施設栽培では3月以降、特に5～6月は注意が必要です。

うどんこ病

キュウリの栽培において注意したいのが、うどんこ病とべと病です。適正な管理を心掛け、病気が発生してしまつたら早めに薬剤防除をすることがポイントです。

- ④発病前から定期的な葉散をし、病気になる前に予防する。
- ③樹勢が衰えると発病しやすくなるため、摘果や追肥で樹勢を維持する。
- ②土壌からの感染を防ぐため、マルチなどを敷く。
- ①排水を良くしたり密植を避け、加湿を避ける。

●対策
排水を良くしたり密植を避け、加湿を避ける。

べと病は葉に発生し、その他部位には発生しません。下位葉から発生し、徐々に上位葉に感染していきます。初めは淡黄色をした境界のはっきりしない小さな病斑ですが、病状が進むと葉脈に沿って囲まれた多角形で黄褐色の病斑になります(写真⑤⑥)。発生しやすい条件は、気温がやや低温で多湿の場合です。施設栽培では周年で発病するので注意が必要です。

べと病

に病気は発生するので、両面に十分薬液がかかるようにする。

表② キュウリに登録のある薬剤

薬剤名	適用病害名		希釈倍率	使用時期	使用回数	特性	
	うどんこ病	べと病				予防	治療
ダコニール1000	●	●	1000倍	収穫前日まで	12回以内	○	×
フォリオゴールド	●	●	800～1000倍		3回以内	○	○
プロボーズ顆粒水和剤	●	●	1000～1500倍		3回以内	○	○
テーク水和剤	●	●	600～800倍		3回以内	○	○
ベルコートフロアブル	●		2000倍		7回以内	○	×
ケンジャフロアブル	●		1500倍		4回以内	○	×
ショウチノスケフロアブル	●		2000倍		2回以内	○	○
ベトファイター顆粒水和剤		●	2000～3000倍		3回以内	○	○
ゾーベックエンテクタSE		●	4000倍		2回以内	○	○
リドミルゴールドMZ		●	1000倍		3回以内	○	○

営農なんでも相談室

皆さまの営農に関するお悩みを、JAの総合事業の力で解決！栽培管理、コスト削減、規模拡大、求人・雇用のことなど、お気軽にご相談ください。

JA山武都市 営農なんでも相談室(本所 営農部内)

0120-972-860



写真⑥ べと病(進展した病斑)

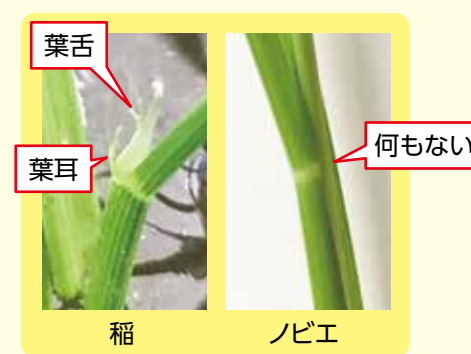


写真⑤ べと病(初期症状)



写真④ うどんこ病

図① 稲とノビエの見分け方



一年生雑草の中でも代表的なものがノビエ(イヌビエ)などを含めた総称です。穂がつく前に見分けるのは難しいですが、葉身と葉鞘の境目で見分けることができます。稲には「葉耳」という

一年生雑草

令和6年産の米作りがスタートしました。田植えが終わりますが、これからは初期害虫や難防除雑草が発生してきます。発生が多い水田では、苗が枯死して収穫量に大きく影響が出ますので、適期の薬剤防除を心掛けましょう。今回は雑草対策について紹介します。



写真① クログワイ

毛が生えており「葉舌」という膜状の突起もありますが、ノビエにはありません(図①参照)。雑草が大きくなると除草剤が効きにくくなるので、穂がつく前にノビエを見分け、抜き取るか、除草剤を散布して対処しましょう(図②、表①参照)。

多年生雑草

クログワイ(写真①)、オモダカ(写真②)、コウキヤガラ(写真③)などが代表的なものであり、地上部が枯れても根茎などの一部が残り、そこから繁殖していく特性を持っています。初期一発除草剤を1回散布しただけでは防除しきれないため、雑草発生後は早めに中後期除草剤で追加防除しましょう(表①参照)。

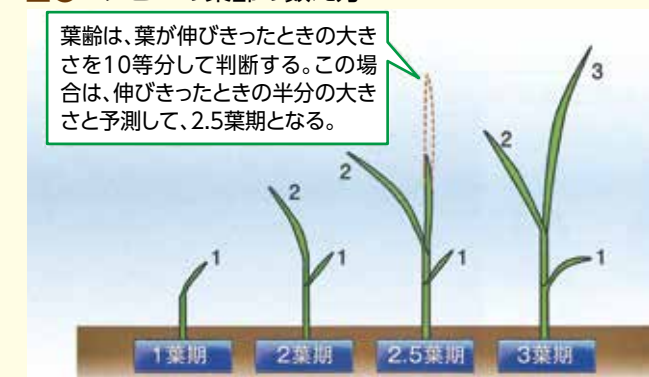


写真③ コウキヤガラ



写真② オモダカ

図② ノビエの葉齢の数え方



(引用：日産化学株式会社「水田雑草ポケット図鑑」)

表① 中後期除草剤

薬剤名	雑草別の散布適期				使用時期	使用量(10aあたり)	使用回数
	ノビエ	クログワイ	オモダカ	コウキヤガラ			
クリンチャーEW(粒剤も有)	6葉期まで	×	×	×	移植後20日～収穫30日前まで	薬液：100mL 散布水量：25～100L	2回以内
ワイドアタックSC	6葉期まで	草丈20cmまで	草丈20cmまで	草丈20cmまで	移植後20日～収穫30日前まで	薬液：100mL 散布水量：100L	2回以内
アトトリ豆つぶ(粒剤も有)	4葉期まで	草丈30cmまで	矢尻葉3葉期まで	草丈30cmまで	移植後14日～収穫45日前まで	250g	1回
レプラス1キロ粒剤(ジャンボも有)	4葉期まで	草丈30cmまで	矢尻葉3葉期まで	草丈30cmまで	移植後14日～収穫60日前まで	1kg	1回
アレイルSC	5葉期まで	草丈70cmまで	矢尻葉3葉期まで	草丈90cmまで	移植後20日～収穫45日前まで ※出穂始期15日前まで	薬液：500mL 散布水量：25～100L	1回

※アレイルSCは被害の恐れがあるため、必ず出穂始期15日前までに散布してください。